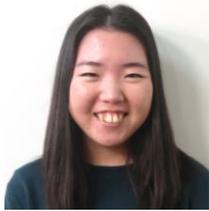


＜能力強化事業（NGO 相談員）＞ 「現地の声を世界へ届ける、NGO の仕事」



ICAN 日本事務局
古谷 小夏

～プロフィール～
立命館アジア太平洋大
学卒業後、2019年10月
より現職。

2月3日に「NGO 相談員」として静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校の1・2年生に対し、NGO の取り組みについての講演を行いました。NGO 相談員制度では、職員の立場から NGO での日々の業務や活動の内容、そして日本の NGO 団体が活動する世界の様々な国や地域について紹介しています。さらに各個人の国際協力への関心を引き出し高めるべく、活動へ参加する方法を提案したり、就職やインターンについての質問にも答えています。

NGO 相談員として多くの方から相談を受けていると、それぞれが様々なきっかけから国際協力に関心を持ち始めたことに気が付きます。旅行で訪れた国で貧困や格差にショックを受けて行動を起こす方、知り合いの故郷で起こっている問題に心を動かされる方など、「国際協力」と呼ばれる活動は、こうした一つひとつの熱い思いに後押しされているのだと実感します。しかし、色々な思いに触れ共感する一方で、このような思いはどうしても関わりが持ちやすい国や課題に偏ってしまうのではないかと考えることもあります。講演で紹介したアイキャンの活動地であるイエメンは、内戦により治安が悪化し、現在は日本人の入国もできず、遠く馴染みが少ないイエメンの情報を知る機会は限定されています。本講演でも参加者から「イエメンのことを初めて知った」という声が聞かれました。

「世界最悪の人道危機」と一括りされている現状には、その一言では表せない程の生活の厳しさや日常的な身の危険が詰まっているのにも関わらず、その様子を目の当たりにすることや、直接話を聞くことはできません。そのため、他の課題と同じ様な危機感をもたらすことができているのではないかと、もどかしさを感じます。

多くの方が厳しい環境で暮らしていることやその生活の背景にある課題に対し、まずは目を向けなければ、問題解決のために行動を起こすこともできません。そのために NGO 職員として自分ができることは、直接訪れることができない中、イエメンという国の現状や現地の人びとの声を遠く離れた日本まで届けることではないかと思えます。自分自身も活動を通じることができたイエメンという国の文化、人柄、そして、紛争下の現状等、限られた時間の中でも可能な限り状況を忠実に伝えることで、参加者の学生さんから「私もできることをしたい」「もっとイエメンについて広めたい」と感じていただけた時には何ものにも代え難い成果であると感じます。

普段の生活から遠く感じてしまう「紛争」というトピックでも、実際に訪れることができなくとも、イエメンや他の国で起きている問題を知ろうと目を向けることはできます。イエメンで暮らす人それぞれが持つ生活の厳しさや家族の事情、平和への願いを聞くことで遠く離れた日本でも「行動を起こしたい」という思いが生まれることを信じ、今後も NGO 相談員としての講演を行っていきます。



フィリピン事業

2月22日/マニラ市 (フィリピン)

マニラ市の路上で見回り活動を実施しました



マニラ市で、路上の子どもの多くが生活している地域を見回り、見守り活動を実施しました。この活動は、路上の子どもの声に耳を傾け、信頼関係を築くことを目的としています。路上で過ごしているジョジュア君（仮名）12歳は「僕は学校に通っていません。家族をサポートするために、勉強もやめて、路上でタバコなどを売っています」と課題を話してくれました。

家族をサポートするために、勉強もやめて、路上でタバコなどを売っています」と課題を話してくれました。

ジブチ事業

2月/ホルホル難民キャンプ(ジブチ)

難民スタッフが活躍する「子どもの広場」



ジブチの難民キャンプ内にある「子どもの広場」は、感染対策を講じながら継続的に運営を行っています。運営に携わる、自身も難民である難民スタッフは、子どもたちから「先生」と呼ばれており、「先生と一日中ずっと一緒に遊びたい」との

声に、「遊ぶ時間も大事だけど、勉強したり、ご飯を食べたりよく休む時間も大切だよ」という会話が聞かれました。

イエメン事業

2月20～28日/タイズ州 (イエメン)

イエメンの食糧提供と感染症対策



イエメン・タイズ州で今期3回目となる食糧提供が行われ、2,180世帯が食糧を受け取りました。担当職員からは「新型コロナウイルス流行後、初めて実施した12月の提供ではマスクを途中で外してしまう人もいたが、繰り返し呼び掛けを行うことで、人びとが積極的に予防対策に取り組む様子が見られた」と、啓発活動の効果も実感する声が聞かれました。

人びとが積極的に予防対策に取り組む様子が見られた」と、啓発活動の効果も実感する声が聞かれました。

能力強化事業（NGO 相談員）

2月19日/名古屋 (日本)

小学校で NGO の活動に関する講演を実施



NGO 相談員制度を通じて、岐阜県の中野方小学校でオンライン講演を実施し、同校の児童10名が参加しました。講演では、路上や紛争地域で暮らす子どもたちなど、世界各地の NGO 活動について紹介し、参加した児童からは「世界には食べる事ができなくて亡くなる子どもがいると知って、食べ残しなど無駄のないようにしようと思った」との感想が聞かれました。

食べ残しなど無駄のないようにしようと思った」との感想が聞かれました。